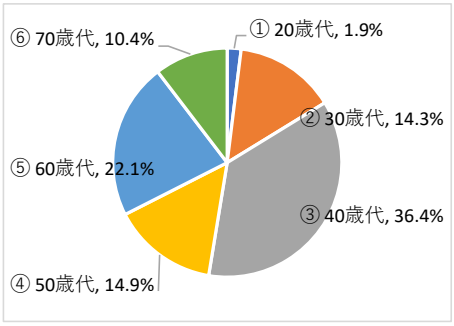
令和８年度　鹿屋市市政モニター　第３回アンケート集計

○ テーマ：鹿屋女子高等学校に期待することについて
○ 調査期間：令和８年８月21日（金）～ 令和８年９月４日(金)
○ 回収結果：送付数200人（市内177人・市外23人）、回答数154人、回答率77.0%

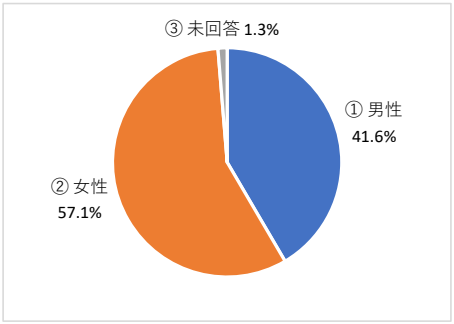
問１　年齢

回答		件数	割合
①	20歳代	3	1.9%
②	30歳代	22	14.3%
③	40歳代	56	36.4%
④	50歳代	23	14.9%
⑤	60歳代	34	22.1%
⑥	70歳代	16	10.4%
合計		154	100.0%



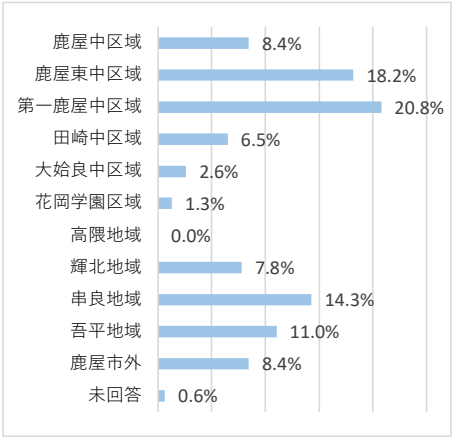
問２　性別

回答		件数	割合
①	男性	64	41.6%
②	女性	88	57.1%
③	未回答	2	1.3%
合計		154	100.0%



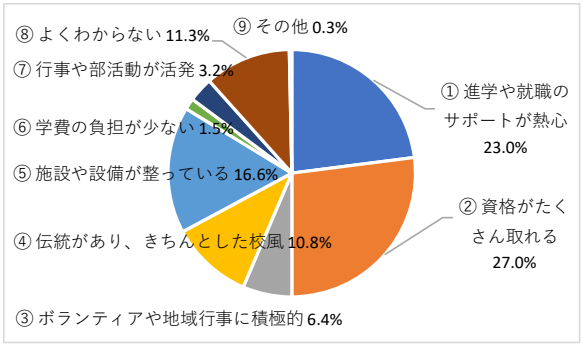
問３　お住まいの地域

回答		件数	割合
①	鹿屋中区域	13	8.4%
②	鹿屋東中区域	28	18.2%
③	第一鹿屋中区域	32	20.8%
④	田崎中区域	10	6.5%
⑤	大姶良中区域	4	2.6%
⑥	花岡学園区域	2	1.3%
⑦	高隈地域	0	0.0%
⑧	輝北地域	12	7.8%
⑨	串良地域	22	14.3%
⑩	吾平地域	17	11.0%
⑪	鹿屋市外	13	8.4%
⑫	未回答	1	0.6%
合計		154	100.0%



【学校の印象（複数回答可）】
問４　今の鹿屋女子高校に、どんな印象を持っていますか？

回答		件数	割合
①	進学や就職のサポートが熱心	79	23.0%
②	資格がたくさん取れる	93	27.0%
③	ボランティアや地域行事に積極的	22	6.4%
④	伝統があり、きちんとした校風	37	10.8%
⑤	施設や設備が整っている	57	16.6%
⑥	学費の負担が少ない	5	1.5%
⑦	行事や部活動が活発	11	3.2%
⑧	よくわからない	39	11.3%
⑨	その他	1	0.3%
合計		344	100.0%

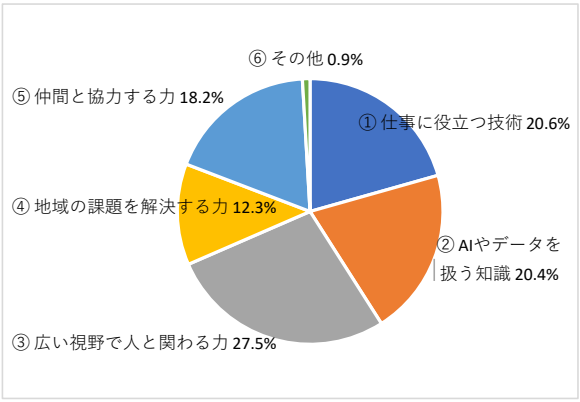


その他の意見
・閉鎖的、近づきにくい

【これからの社会に必要な力（複数回答可）】

問５　将来活躍するために、学校で特に何を身につけるべきだと思いますか？

回答		件数	割合
①	仕事に役立つ技術	87	20.6%
②	AIやデータを扱う知識	86	20.4%
③	広い視野で人と関わる力	116	27.5%
④	地域の課題を解決する力	52	12.3%
⑤	仲間と協力する力	77	18.2%
⑥	その他	4	0.9%
合計		422	100.0%

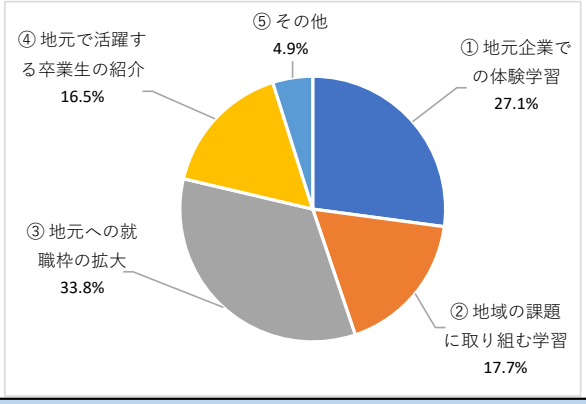


その他の意見
・男女平等に基づき女子校という概念にとらわれず、性別を超えた世の中の取り組みや現況に沿って教育をすすめる試みが今後は必要かと思う。 ・歴史や世界情勢を知ること、人との関わり方など。 ・理系女子がこれから要求される人材であるが、それに匹敵するのは、AIなど活用できる女子となる。 ・英語力

【地元で働くために（複数回答可）】

問６　卒業生が地元（鹿屋・大隅）で就職し、住み続けるために必要なことは？

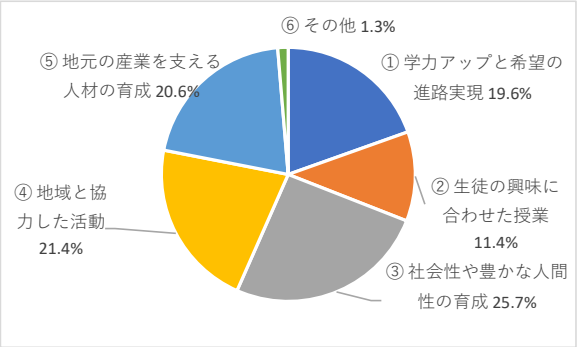
回答		件数	割合
①	地元企業での体験学習	89	27.1%
②	地域の課題に取り組む学習	58	17.7%
③	地元への就職枠の拡大	111	33.8%
④	地元で活躍する卒業生の紹介	54	16.5%
⑤	その他	16	4.9%
合計		328	100.0%



その他の意見
・外部講師としての取り入れをもっと積極的に行うべき ・就職したいと思う会社 ・魅力的な地元企業があることが土台だと思います。①体験学習等で高校生が地元企業を知り、②企業が採用枠を用意する、という順番で進むと定着しやすいのではないでしょうか。 ・これは学校だけの問題ではなく、鹿屋市という街に「一生暮らしていく魅力」を、子どもたちにどう理解させるかだと思います。　今の若い子は、地元を嫌っているわけではないと思います。それでも、やはり一度は外へ出ていってしまいます。私自身、37年前は魅力がないと感じて関東へ出ましたが、外から見つめ直した今の鹿屋は、都会にない豊かさや「魅力」がありすぎます。　一度外に出ることは、視野を広げるためにも素晴らしいことです。大切なのは、出ていくだけで終わらせない仕組みです。　学校の枠を超え、市全体で「鹿屋で暮らすことは、とても贅沢で幸せなことだ」と伝え続け、一回外へ出ても「いつか必ず戻って、この街を支えて生きる」と思えるような、温かい人生のプランを街全体で描いていくことこそが必要です。市立高校だからこそ、その「帰る場所」としてのシンボルになれるはずです。 ・魅力のある企業がなかなかない　都心部の企業に比べて福利厚生が充実していない　　都心部との企業格差 ・大隅半島にある高校を卒業して、さらに学びたい事や技術を習得したい者は、単科大学の鹿屋体育大学に進学しないかぎり、鹿児島市か県外に出るしか無いのが鹿屋市の若者。鹿屋市に大学や専門学校が建設されない限り若者の流動は止まらないと思う。対策としてはインフラ整備を重視し、鹿屋から鹿児島市内の大学や会社へ通学・通勤できる交通網をしっかりと構築することしかないと思う。錦江湾に橋を渡すような計画をする行政の考え方が欲しい。 ・地元に住み続けるメリット、または進学した後に帰ってきたいと思える職場づくり、金銭的支援のサポート、例えば就職するために必要な車の免許の補助や、一人暮らしなどのサポートなど ・グローバルな視点で見る力を持つこと。地域の人の話を聞く力を持つ。正しいこと、そうでないことを見抜く経験を積む。それらを応用する力を持つこと。 ・生徒が、地域で暮らすメリットを実感できる状態をつくる。若者が地域に関わりやすく、若者が働きやすく、若者が暮らしやすい環境をつくること。 ・情報ビジネス科は、即戦力だと思うが、雇われる事を前提にしていると思う、在学中から起業家のための学習も併せて行って欲しい。 ・とにかく、働く場所が少なすぎるので企業誘致を進める。 ・鹿屋に住みながら働けるような企業の紹介と、そのスキルの習得。 ・幅広い職業内容と、十分な給与水準 ・諦め、覚悟、愛情 ・若者が“働きたい”と思う企業が地域にあるか、どれくらいあるか。 ・給与体制（鹿屋大隅は安すぎる）

【市立高校としての役割（複数回答可）】
問７　鹿屋女子高校に何を期待しますか？

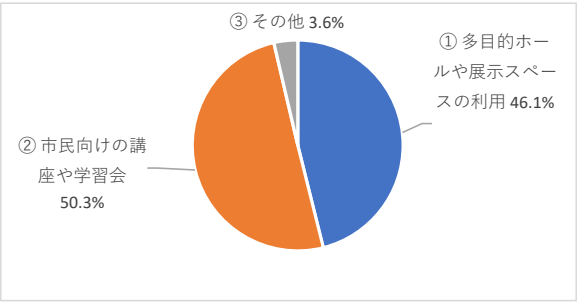
回　　答		件 数	割 合
①	学力アップと希望の進路実現	74	19.6%
②	生徒の興味に合わせた授業	43	11.4%
③	社会性や豊かな人間性の育成	97	25.7%
④	地域と協力した活動	81	21.4%
⑤	地元の産業を支える人材の育成	78	20.6%
⑥	その他	5	1.3%
合　　計		378	100.0%



その他の意見
・IT企業で就職できる専門的な知識の習得や、外国人労働者の導入増加による日本語教師及び異文化共生を考慮した今後の状況に適応できる人格の育成など。
・地元に残って支えてくれる存在
・楽しい学校生活を送って欲しいので、自分の夢をもてるような経験を得て欲しい。
・鹿屋市には鹿屋体育大学があります。鹿屋女子高と鹿屋体育大学の連携を鹿屋女子高ならではの強みにできらたいいと思います。
・起業家のための学習

【学校の施設開放（複数回答可）】
問８　学校の施設を地域に開放する場合、どんな使い方をしてみたいですか？

回　　答		件 数	割 合
①	多目的ホールや展示スペースの利用	89	46.1%
②	市民向けの講座や学習会	97	50.3%
③	その他	7	3.6%
合　　計		193	100.0%



その他の意見
・子供向けイベント
・校内にどんな施設があるのか把握できていないので、まずは開放できる施設を広報してほしい。
・母校ですが、一回も新しくなってから行ったことがないので、せめてOGに向けて学校紹介や魅力の発信をするべき。
・セキュリティ・ 教職員の負担・ 責任問題など、デメリットがあるので、開放には慎重になった方がよいと思います。
・市民向けの学習に関係するが、社会人の学び直し、地域貢献として、情報ビジネス科の生徒にひとり親への学習支援として、PCを教えて欲しい。
・子供向けのスポーツ活動やクラブ活動への貸出。その他、英話教室などの習い事への施設の一室を貸出等、子供達が女子高に触れる機会があれば、子供達が高校生になる頃に女子高に興味や親しみを持ってくれる機会になりそう。
・このご時世、関係者以外が学校内に入るにあたり防犯上の課題をクリア出来れば地域と学校の交流も可能性を感じます。

【学校への自由提案】
問９　鹿屋女子高校が、もっと魅力的な学校になるためのアイデアを自由に教えてください。

回　　答
・農業、漁業、観光、福祉、行政などと授業をつなぐ ・大学・専門学校・海外とオンラインでつながる ・地域の課題を生徒が実際に解決する ・学校予算の一部を生徒が決める ・地域とのプロジェクトを生徒が立ち上げる
・もっと市との企画などはどんどん宣伝するべき、必要な人のもとへ情報が届いてない。
・市立学校として女子校が注目されるように市報等で学校の取り組みやイベント情報を連載した枠があれば今の活動や魅力が伝わりやすいかな？と思います。SNSやインターネット等は興味がある方が検索して目につくと思いますが。まずは今の女子校をたくさん知りたいです！
・地元に残ってもらうことも大切な要素だと思いますが、決して保守的にはならず、外の世界を知り、視野を広げて、新しいことにチャレンジするエネルギーも鹿屋には必要なのではないかと思います。鹿屋の女性リーダーを育てるような教育も、ぜひとも取り組んでほしいと思います。
・在校生、卒業生の活躍情報を広報紙等で紹介
・いじめのない学校。助け合いの精神が育つ学校。検定試験等、力を入れて就職に有利な人材育成。制服可愛いと子どもたちは喜ぶのかな?。規則は厳しい方がいいと思います。
・市立高校であった事はじめて知りました！校舎も新しくなり、昔から真面目で良い生徒さんが揃っているイメージです！最近は子供向けのイベントもあったりと嬉しいです！機会があれば参加したいと思ってます。地元に根付いで素敵な学校だと思ってます。校風が今のままだったら娘も大きくなった時に勧めたいと思ってます。
・鹿屋女子高校の強みは、入学時点で将来を「今決めなくていい」ところだと思います。工業・商業・農業のように分野を一つに決める必要がなく、総合選択制で学びながら進学か就職かを選び直せます。資格取得の実績もあるので、この選びやすさをもっと前面に出してはいかがでしょうか？
・鹿屋を愛する一人の出身者としての提言～市立高校だからこそできる、若者が一生を鹿屋に捧げたくなるプラン作り～ 1.「いま、なぜ女子高なのか」を、少子化の今こそ問い直す 37年前に鹿屋を離れた一人の市民として、故郷の少子化を心配しています。今の時代に、公立の女子高をそのまま維持していくのは本当にベストなのでしょうか。男女共学にすることで、すべての子どもたちに門戸を開き、より活気のある学校にできるのではないでしょうか。 2.「県立」ではなく「市立」だからこそできる、鹿屋のための学校づくり

県立高校は県全体の教育を見ますが、この学校は「鹿屋市立」です。だったら、「鹿屋市のために、鹿屋市に一生暮らし、鹿屋市を支えていく人材を育てる学校」に特化してはどうでしょうか。これこそが、市立高校が存在する最大の意味になるはずです。

3.一回外に出ても、必ず鹿屋に帰ってこられる「人生のプラン」を作る

高校を卒業して、都会の大学や専門学校へ進学し、広い世界を見るのは素晴らしいことです。しかし、そこで終わりにするのではなく、「大学を卒業してからも、また鹿屋に戻ってきて生きていける、働ける」。そんな安心できるレールを、市と学校が一体となって用意してあげてほしいのです。例えば、「戻ってきてくれたら就職を全力で応援する仕組み」や「安心して暮らせる定住支援」など、若者が『やっぱり鹿屋が一番いいな』と戻ってこられるプラン（循環）を作ることが、今こそ必要です。

・スポーツのまち鹿屋なので､全国レベルの部活動などあったら市民の盛り上がりが変わってくると思います。ホールでファブリックビューイングなど。
・各県立高校や私立高校とは違った、鹿屋市立であるという他の高校とは違ったメリットを市政として打ち出す試みが必要と思う。授業教材や授業内容に鹿屋を取り込み、観光地や行事も、学生学校が共に一丸となって市の広報活動にも参加し、県外への情報発信ができるようにするなど構築できれば良い気がする。鹿屋市には海上自衛隊航空基地がありメモリアル行事ですら、県外の飛行機好きなマニアには情報が薄い。
・女子が求めるもの(部活動など)活発に取り入れていくべき、女子高生の発信力はすごいのでうまくSNSやはやりのものを柔軟に取り込んで行くと入学希望者は増えると思う。
・まだまだ閉鎖的な印象があるので、地域に開放された学校になることを望みます。
・特にないです　私立の学校かと思うくらいに綺麗な校舎でいいなと思います
・私たちの時代は鹿屋女子高校に対して学校や周りの偏見があり受験さえも出来ませんでした笑。昔から魅力的な学校だと思っていますが現在の女子高の様子や状況を公開する事は良いと思います。
・オープンキャンパスを複数回実施する。
・今のデジタルに振り切った社会でも鹿屋市の資産を上手に使って生かせるような生徒を育てる学校になって欲しい。その、学校、生徒、先生方、評価をするときに見えるところだけで評価をして、これで良いになっていませんか？今のギスギスした人間関係を上手に橋渡し出来る人間性を持つ人になってほしい。それをガイドしているのは先生方ではないでしょうか？今回は具体的なアイディアは出てきませんでした。詳しく学校のことを知らないことがその一因かもしれません　言葉足らずですが、参考になれば幸いです
・イベント等に更に参加して若さ、地域密着のアピール
・今までの活動にプラス、地域社会との関わりを広げてほしいです。歴史的な地域との関わりや、観光等での関わりを広げて欲しいです。
・伝統校ですのでこれからも可愛い発信を楽しみにしてます。
・在校生や卒業生の活躍している姿をＳＮＳなどで広く発信する。
・校舎が変わってから行けてないのでOBが交流できる機会を設けてほしい。（鹿屋女子校OB）女子校といえばのぱっとしたイメージが湧かないので地域の人を招いた発表の場だったりイベントを開催して、学校の校舎だけでなく中身の魅力を発信していってほしい。
・社会の経験を積んだ先輩方による実務教育と生きた外国語教育、特に英語と中国語。私自身、学校の英語教育は文法中心だったため、社会に出てすぐに外国の方と仕事で付き合う必要があったときに、学校の教育が役立たずだった。
・男女共学にする
・鹿児島県肝付町にある鹿児島県立楠隼中学校・高等学校は、近隣にJAXA内之浦宇宙空間観測所があることから、「宇宙航空教育活動推進モデル校」になっていると報道されていました。Q７にも記入しましたが、鹿屋市には日本で唯一の国立体育大学鹿屋体育大学があるのですから、連携できたらもっと魅力的な学校になると思います。キャリア支援やリーダー育成につながると思います。
・中央高校のバスの利便性を考えると女子校には、寮の整備があってもいい様な気がする。HPに取得できる資格を掲載すると、到達目標がはっきりする．中央高校ＨＰにはあった。他校と交流して、その交流の中でリーダーの育成を図って欲しい。
・子供の減少に伴い、共学も致し方ないかと思います。そして、アニメや漫画、メイク、音楽、デジタル、医療他もっと個性的な専門学科を増やすことで、他県からも入学が望めるのではないかと思います。
・10名程度で東大を目指すような特進クラスの設置とそこの学生への学費補助。
・小学生中学生向けの学校見学会やイベントがあると実際に行って施設も見ることができるので良いなと感じます。どのような進路が実現できるかの情報も知れたら嬉しいです。
・地域の企業とコラボ商品を開発して販売するなどして、校名をアピールする。
・地域の活動等を通じ、社会に出ても1人の大人として恥じない人間性を身につける学校にしていけばいいと思う。祭り等にも積極的に参加し、地域の文化として落とし込んでいく。
・色々なお祭りやイベント等に部活動やグループ等で、積極的に参加したり発表したりして、地域の人達と出会い、ふれあい、コミュニケーションをとったりして、垣根を取り払い、アピールする。(ダンス部、吹奏楽部、書道部等々)
・部活動の強化、県内上位で活躍できる部活動を増やす。
・市内他の高校はすべて男女共学ですが、女子高も是非、男子も入れて共学にしたら如何でしょうか？
・結婚してから鹿屋に来て今まで鹿屋女子高校と接点もなく全く鹿屋女子高校の事を考えた事がありませんでした。校舎がとても綺麗になったイーメージです。バザーなどはあるのでしょうか？バザーがあると地元の人も買いに行ったりできるし、もし芸術も盛んでしたら展示物も見ることができると思います。
・高校卒業後にすぐに活かすことのできる時代にあった資格の取得へ変化。AIやプログラミング資格取得を全課へ導入。鹿屋看護学校と鹿屋女子校が一緒になり看護資格が取れるなど特色を一変してもいいと思う。私立並みに公立も特色を変えないと生徒数が減少していってしまう。
・スポーツに特化したコースを作り、鹿屋体育大学との連携が出来れば注目度がアップすると思います。例えば女子硬式野球部や駅伝など強豪校になれば生徒は集まるでしょう。また、現在活躍してる生徒さんを広報誌やSNSで毎月取り上げたり、インタビュー映像を流したり、学校の横断幕以外で鹿屋女子高の生徒さんの頑張りを市民が認識できるものがあれば更に魅力が伝わると思います。学校の中身や施設、行事などもわかればより身近に感じると思います。
・田舎の井の中の蛙のままでなく、たくさんの情報与え、たくさんの体験をさせてあげて、彼女たちの興味や夢を叶えられるといいと思う。
・道徳教育の徹底
・関西からの移住で、専門性を知らずすみませんが、もし出来る科があるのでしたら、人が集まる場所（マルシェやお祭り？）等で、アピール出来る

ものがあれば、そこで披露してさらに知名度等アップに繋がらないかなぁと思いました。
・地域に特化した学科の創設
・地域にとって魅力的な学校という視点では、生徒ひとりひとりが地域の方に認知されるレベルになると、地域にとって魅力を感じることができると思います。そのためには、地域との共働での課題解決に取り組むことが良いと思います。また、生徒にとって魅力的な学校という観点では、生徒ひとりひとりの多様なニーズを満たす学習支援があると良いのかと思います。活き活きとした生徒が、地域の人に認知されると良い循環が実現できるかと思います。一方で、生徒のニーズが最もネックとなると思っており、そのためにはニーズの把握とニーズを実現させるためのアイデアと目標までの道筋を描くプランニングが必要で、高校生活を年度で区切らずに、約2.5年のスパンで捉え、うまく伴走してあげることが重要だと思います。そういった仕組み作り（教師の負担を考慮すると、郷中教育のように先輩が伴走役になるなど）と大人（これは地域の方を活用するでも良いと思います）による定期的なモニタリングが良いかと思います。
・鹿屋でもできるネットビジネスのノウハウが学べたり、ハンドメイド等で自宅で開業するしている人も現代は多いので選択制で開業に必要な知識を学ぶ環境があると他の学校ではなかなかないので魅力のひとつになるのでは。また、鹿屋で活躍している人の話を学生だけではなく市民講座とも兼ね合わせて市民も聞く機会があってその場で女子高のPRもできるとなおいいのではないでしょうか。
・鹿屋市にある県立高校との違いの明確化（鹿屋市立であることや女子校であることのアピールではなく、進路や学ぶ内容が具体的にどう違うのか。県立高校は「進学校、工業、農業、商業」と明確に別れているが、鹿屋女子高は不明確である。）
・現在の女子校については生活圏での接点が全くないため存じ上げません。すみません。私の同級生同世代の女性のお話ですが、進学や就職で市外県外へ転出し転出先で結婚というケースが多いです。女性だけでなく男性も大半はそのケースです。地元に残る人は1割にも満たないと思います。その原因は学生期に具体的な将来像を持てなかったこと、田舎にいても働き口は無く出会いも少ないという先入観だと思っています。地元で働く人がどのような想いを抱いているのか、給与の多い少ないだけでなく楽しい事辛い事、1日のルーティンなど詳しく生の声を聞くことで地元で働く具体的な将来像を持ちやすくなるのではないかと思っています。質問内容と異なった返答ですみません。
・親世代には、就職率だったり、進学率、また就職や進学先など、子供が人生を歩む上で有利になりそうな事が魅力的にうつりそうですが、少子化へ向かっている中で、共学でない今の状況を維持しながら学校続けていく為には、子供達に魅力的にうつる物がなければいけないのかなと思います。それは、子供の思考になるので、大人な自分達がしょうもないと思う様な事もあるのかもしれませんが、大人の常識を脱ぎ捨てて、子供達の意見をどんどん聞いて（女子高生でもいいと思います）耳を傾ける事が魅力的な学校を作る為に必要な事だと思います。
・生徒や保護者、教諭等の学校関係者が様々な活動を通して、感じて、アイディアを生み出していくものだと思います。
・卒業生です。もっともっと魅力的な学校になって欲しいです！生徒が企画して　鹿屋市で元気なイベントを幾つでも作り上げては！仲間と元気に活動したり、個性豊かな分野を伸ばしてこそ、学習にも身が入り思い出深い充実の高校生活が送れるのでは。
・就職率やスポーツで売り出す！学園祭等の一大イベントをする。書道教室とかもしてほしい。
・共学にして、男子の選択肢も増やしていけたらまた違ったことが幅広くできたりするのではないでしょうか。
・スクールバスなどあったら、遠いところからでも通える子達も増えるのかな。と思いました。
・共学にすべきでは。
・鹿児島市内や県外の高校との交流の機会を増やし、鹿屋市の魅力の発信や経験を校内活動に活かしていければいいと考えます。
・個々の個性的な特技や興味が追求出来るような支援。学習成果を地域住民に紹介出来る場の提供。国（自衛隊）や市、民間企業とのコラボ企画。
・地元企業と密着した学習活動の推進　校外での自主活動やボランティア活動などの充実　SNSサイト等を利用した女子高の魅力発信
・生徒たちの活動風景を新聞、テレビなどでアピールしたらどうか？
・校則をもっとゆるくした方が、生徒が伸び伸び個性を発揮出来ると思う。締め付けない方が、生徒も生き生き楽しく学校生活送れて、自然と校風ももっとよくなると思う。子どもを信じる
・市立高として、参加出来る市の行事など制服で参加する事で、生徒さん達が魅力を発信して欲しいです。
・今回、初めてホームページで女子高の進路実績を見ましたが、令和5年度の進路状況で最新情報に更新されておらず過去4年間の就職もいつからなのかはっきりしない。情報収支はネットがウエイトを占めておりホームページの更新は学校と担当課が更新内容を情報共有し鮮度を保って欲しい。少子化で定員割れが続くなら募集定員の見直しも必要ではないでしょうか？市の担当課も唯一の市立高校ならではの魅力を見る人に感心を持って貰えるよう発信して欲しい。
・市役所ロビーで文化的な部活動などの披露や展示などされたらどうでしょうか。
・難関大学を目指した進学クラスの創設　高校生が本気で取り組むスタートアップ
・学校として在校生に対し学校に望むもの、鹿屋に対して求めているものをそれぞれ聞いて、望んだものが実現可能なのか？どうやったら実現できるのかを生徒を含め学校として取り組んで欲しい。
・卒業生です。少子化の時代にありながら、校舎も新しくなり魅力のある高校になったなと感じています。ハード面でもソフト面でも発展されることを願っています。これからのAI時代の，社会の流れを捉えた知識を高校時代にたくさん身につけられるような学びができるような高校になるといいなと思います。
・施設が新しくなったことはわかりますが、地域に根強いた活動や特徴ある授業をしているのか、あまり見えてきません。もう少し、広報に力を入れて学校内外の活動情報がわかるといいと感じます。
・優秀な教師が必要もしくは、優秀な教師の人材育成の継続　・ボランティアや地域行事への積極的な参加をしてほしいので、学校で何か特典をつける　・生徒からの要望を定期的にアンケートで回収し、実行する
・制服を変える
・地域の方との交流会。女性らしくなるため、御花を習う華道。
・「市立(公立)」校の体育系・文化系の活動内容及び結果の報告(お知らせ)が某有名私立校に比較してほとんど視ることが有りません。また「女子高」は昔から一般「男子」には「敷居」が高すぎるイメージ。来年の今頃には孫が受験予定なのでイメージアップ宜しくお願いします。大隅半島唯一の公立女子高頑張ってください。
・あまりよくわからない
・生徒さんの自主性、多様な発想ができる自由な教育環境をさらに作ってもらいたい。そのためにも市民にも小さなことでも良いので協力を求めながらSNSを通じて発信してください。